

G 共通ルール レギュラーカテゴリー

1. 競技ルール

WRO は WRO 運営委員会（これ以降「委員会」とする）により構成され、本競技会中のみ適用される。

- 1.1. 追加のサプライズルールが競技当日朝発表される。
- 1.2. 追加の「サプライズ」の発表は、紙で各チームに手渡されなければならない。

2. 参加資格とチーム構成

- 2.1. 年齢 — セクション C「年齢の定義」参照
- 2.2. チーム構成 — セクション D「チームの定義」参照
- 2.3. コーチ — セクション E「コーチ」参照

3. 材料と準備（2011.8.15 更新）

3.1. コントローラーを含むロボット組み立てに使用される材料はレゴ®マインドストームセットでなければならない。

これはレゴマインドストームシリーズすべてが適用されることを意味する。

各チームは複数のレゴマインドストームセットの部品をしようしてかまわない。

制限があるのは、モーター、センサー、ソフトウェアである。

ソフトウェア：3.9 参照

モーター及びセンサー：3.10 参照

個々の競技ルールについては開催国が発表する詳細も熟知すること。

- 3.2. 各チームは競技に必要な材料、ソフトウェア、PC を用意・持参すること。
- 3.3. 各チームは十分な予備パーツを持参すること。何らかの事故または故障であっても、WRO 諮問委員会（および / または組織委員会）は修理や交換に応じない。
- 3.4. コーチは競技中、いかなる指示のためであってもコートに立ち入ることはできない。
- 3.5. ロボットの全てのパーツは（事前に組み立てていない）「組み立て」または「作製」時間開始時に初期状態であること。例えば、タイヤは組み立て時間開始までホイールにはめてあってはならない。
- 3.6. 各チームは（紙やデジタルを含め）いかなる形式であっても文字で書かれたもの、図解したもの、写真による組み立て指示書を使用してはならない。
- 3.7. 各チームは事前にプログラムを作成しておいてかまわない。
- 3.8. ロボットには部品を固定する目的でねじ、接着剤、テープを使用してはならない。このルールに違反した場合は失格となる。
- 3.9. 制御ソフトウェアは、ROBOLAB®またはレゴ®社から提供されている NXT ソフトウェアであること。

以下の表で適切なソフトウェアの詳細を確認のこと。

表は省略

3.10. ロボットに使用するモーターとセンサーは以下に示されるレゴ®の製品であること。いかなるサードパーティー製品も禁止である。各チームが元の製品（例：RCX、NXT、モーター、センサー、等）を改造することは禁止である。これらの改造されたパーツを使用したロボットは、該当の試合は失格となる。

4. ロボットの規格

4.1. ミッション開始前のロボットの最大サイズは、250mm x 250mm x 250mm であること。開始後のロボットサイズは制限されない。

4.2. 各チームはコントローラー(RCX または NXT)を一つだけ使用してよい。

4.3. モーターとセンサーの個数は制限されない。

4.4. ロボットが走行中は（ミッション中は）選手はロボットに干渉したり補助するいかなる行動も取ってはならない。このルールに違反したチームはその試合は失格となる。

4.5. ロボットは自律型であることとし、自動的にミッションを終えること。いかなる無線通信、有線操作、無線操作もロボットの走行中は禁止である。このルールに違反したチームは失格となり、ただちにその試合を中止しなくてはならない。

4.6. NXT をコントローラーとして使用する場合は、ブルートゥース機能は停止し、プログラムのダウンロードは USB ケーブルを使用しなくてはならない。

5. 試合前に

5.1. 各チームは「車検時間」まで所定の場所で競技の準備を行うこと。車検時間になったらロボットを指定の場所に置くこと。

5.2. 各チームは「組み立て時間」開始のアナウンスがあるまで、指定の競技コートに触れることはできない。

5.3. 審判は「組み立て時間」開始アナウンス前にパーツの状態を確認する。各チームはパーツが分解されていることを示すこと。選手は「確認時間」中はパーツや PC に触れることはできない。

5.4. 「組み立て時間」は競技委員長がアナウンスするまで開始とならない。

6. 競技

6.1. 競技とは次のように構成される。：組み立て前のチェック時間；組み立て時間（プログラミングと試走時間を含む）；組み立て後の車検；3回の競技；調整時間；上位16位での競技；準々決勝；準決勝；決勝

6.2. WRO 国際大会は二日間開催される。競技は以下のように行われる。

6.3. 選手は所定の組み立て・調整・試走時間以外に組み立てることはできない。

6.4. ルールに則っているチームには組み立て・プログラム・ロボット調整時間が、各ラウ

ンドごとに与えられる。(世界的 WRO の手本は上記の流れに示される。)

- 6.5. 選手は競技委員長からのアナウンス後に組み立てを開始し、ただちにプログラミングと試走を開始してよい。各チームは組み立て時間と調整時間終了後は指定の車検場所にロボットを置くこと。車検に合格したらロボットは競技出場が許可される。
- 6.6. 各ラウンド終了後、ルールに則っているチームには調整と試走の時間が与えられる。各チームは組み立て時間と調整時間終了後は指定の車検場所にロボットを置くこと。その後、係が規定に則っていることを確認する。車検に合格したらロボットは競技の次の段階に出場することが許可される。
- 6.7. 得点計算は、試合終了ごとに審判によって行われる。各チームは試合後スコアシートを確認し、問題がなければサインすること。
- 6.8. チームの順位はベストスコアにより決定する。もし同点のチームがあった場合は、競技時間で順位を決定する(時間が得点計算に考慮されていない場合には)。もしさらに同順位の場合、次の高い得点を採用し、一貫性のある性能により決定する。
- 6.9. 車検で違反が発見された場合、係は(審判の指示で)そのチームに3分間の修正時間を与える。しかし、与えられた時間内に違反が修正されなかった場合はその試合には出場できない。WRO 世界大会ではトップ16位・準々決勝・準決勝・決勝戦では、違反ロボットを修正する時間は、車検後は与えられない。
- 6.10. 組み立て・プログラム・調整・試走時間以外ではロボットを改良したり取り替えることはできない。(例えば、車検中、各チームはプログラムをロボットにダウンロードしたりバッテリー交換はできない。)しかし「検疫」時間中はいつでもバッテリーの充電は許可される。
- 6.11. 各チームはタイムアウトを要求することはできない。

7. 競技コート

- 7.1. 各チームは試合係員により指定された場所でロボットを組み立てること。(各チームには所定の場所が与えられる。)認定された WRO 組織委員会スタッフと特別な係員を除き、選手以外の人には競技エリアに立ち入ることはできない。
- 7.2. すべての競技材料とコートは競技日に委員会より与えられるものを基準とする。

8. 禁止事項

以下の状況が起きた場合は、審判長の指示に従って、チームの失格および/または競技会場よりの退場となりうる。

- 8.1. 競技コート、他のチームの機材やロボットの破壊。
- 8.2. 競技に影響を及ぼす可能性のある危険物の使用や行動。
- 8.3. 他のチームの選手、チーム、観客、審判やスタッフに対する不適切な言葉や行動。
- 8.4. 携帯電話や有線/無線通信メディアを指定の競技エリアに持ち込むこと。

- 8.5. 飲食物を指定の競技エリアに持ち込むこと。
 - 8.6. 競技中に選手があらゆる通信機器や手段を使用すること。競技エリア外の人が競技中の生徒と話したり通信したりすること。この規則に違反したチームは失格と見なされ、直ちに競技を中止しなくてはならない。もし通信が必要であれば、委員会はチームメンバーに、大会スタッフや役員立ち会いのもと、または審判の許可書と交換で、他の人と連絡を取り合うことを許可する。
 - 8.7. その他審判が大会の精神に干渉または違反すると見なす状況。
9. レギュラーカテゴリーに適用されるモーターとセンサー
図省略